

1 令和5年度第1回定例会

日 時： 令和5年5月26日（金）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 市役所第2庁舎会議室

出席者： （図書館協議会委員）委員6名
（事務局）図書館長、中央図書館整備担当課長、
企画運営担当主査、総務担当主査

事務局 本年度、第1回定例会である。今回から新しい任期となる。
現在の中央図書館の状況は、本の配架を中心に行っており、2階は終了したが1階と地下1階書庫がまだ終わっていない。開館へ向けて準備中の段階である。

今期から新しい任期となり、令和5年4月15日から令和7年4月14日までである。新しい委員の方もいらっしゃるのので、新しい委員の方から順に自己紹介をお願いします。（承諾）

自己紹介。

事務局 本日、会長・副会長が選出されるまでは、事務局が議事の進行をする。

本日は委員が1人欠席である。多摩市図書館協議会規則第4条により令和5年度多摩市図書館協議会第1回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をする。

配布資料確認。

事務局 本日の議題に入る。議題1は、会長・副会長の選出についてである。多摩市図書館条例第4条第5項に基づき、会長・副会長の選出をお願いします。立候補もしくは推薦はあるか。

委員 昨年に引き続き前田委員に是非、お願いしたい。

事務局 推薦があったが、前田委員はいかがか。

委員 承知した。（承諾）

事務局 では、前田委員をお願いします。

それでは副会長について、立候補もしくは推薦はあるか。

委員 深水委員が適任である。推薦したい。

事務局 深水委員はいかがか。

委員 承知した。（承諾）

【議事進行を事務局から会長へ】

会長 議題2は、学びあい育ちあい推進審議会委員の選出について

説明をお願いする。

事務局 昨年度に引き続き、秋澤委員に続けていただきたいと思うが、いかがか。

委員 承知した。（承諾）

会長 議題3は、令和4年度図書館事業評価について、事務局から説明をお願いする。

図書館長 資1-2と1-3、1-4、1-5をご用意いただきたい。

1-2は図書館協議会図書館事業評価（外部評価について）について、図書館で毎年度実施している。目的は多摩市の図書館の運営の改善を図っていくことと、新たな取り組みの評価をしていただくことである。評価の対象は図書館の長期の計画にあたる多摩市読書活動振興計画で、この中にある基本目標を達成するために毎年度事業計画を策定している。昨年度の令和4年度の事業計画に基づいた取り組みに関して評価していただきたい。

評価の方法を説明する。昨年度の協議会でも確認した通り、基本目標（1）から（5）までの中でさらに細かく項目分けしてある。その中から1項目ずつ、合計5項目選定する。これについて図書館の自己評価、それに対しての外部評価と進めていきたい。

評価対象については、令和4年度多摩市立図書館事業計画実施報告の中から協議会の委員の方々をお願いしたい。評価は決定した項目について、限定して行う。評価の実施時期は本日から10月までとし、評価が終わり次第、市民に公表を予定している。

評価結果を受けて、今後の運営の改善に努めるとともに次年度の図書館の事業計画を策定する際に反映する。

本日のスケジュールは、（1）評価までのスケジュールの確認、図書館協議会第1回から第4回で実施したい。（2）図書館で図書館協議会に実施報告をさせていただく。それについてどの項目を評価の項目にするのかを決めていただく。

1-3 外部評価のスケジュールについては、本日の会議の送付資料の通りである。

6月12日から30日までの間で指定された項目について自己評価を行い、協議会の委員へ送付する。7月20日から31日までの間で次の協議会を予定し、意見交換、自己評価について協議する。8月上旬から下旬にかけて評価を進めていき、最終的

に11月の中旬に外部評価を決定する。

次に、評価項目の選定について決定していただきたい。資料1-4 事業評価における評価項目の選定資料として、これまで基本項目の(1)から(5)の取り組みを一つずつ選定してきた、毎年評価を重ねているため、もうすでに評価が済んでいる項目がある。例えば基本目標1の2番と3番は済んでいる。基本目標2は1項目しかないため、毎年度評価をいただいている。

これまで評価されていないのは8項目、今回そのうち5項目については決めていただきたい。

また、毎年行っている基本目標2の子どもへのサービスは評価するのか、まだ評価をしていないところを評価するのか、本日新たな委員で会長のもとに決めていただきたい。

会長 8項目の中から5項目にするのか、9項目から5項目にするのかを選ばないといけない。

ご意見をいただきたい。

図書館長 基本目標2の子どもへのサービスの充実は、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進を兼ねており、別の会議体で毎年度報告をしている。

委員 基本目標2は重要な部分であるため、毎年評価したほうが良いと考える。

会長 委員からやったほうが良いとの意見があったが、どうか。

委員 今年もやってほしい。違った観点から評価することが必要。

委員 私もやるべきではないかなと思う。子供についての事業はしっかり所管として挙げたほうが良い。

会長 皆さんの話を伺うとやっておくのが賢明ではないか。今年度もやるということによろしいか。(承諾)

では基本目標2子どもへのサービスの充実を5項目の中に入れ、あと残り4項目選ぶことになる。

図書館長 それでは実施報告を簡単に行い、報告説明後に選定をお願いしたい。

資料1-5、令和4年度多摩市立図書館事業計画実施報告を見ていただきたい。1ページ目は基礎的活動にかかる事業というところで統計的などころをまとめている。表1の利用実績を見ると令和3年度と4年度比べると貸出者は増えたが、それ以外は数値としては下がっている。資料2の人口15万人未満の地区における比較では、貸出冊数も予約数も第3位と2位ということで例年と変わらず利用されている。資料3のweb-OPACでの予

約受付数内訳は前年度比で減っている。表4は電子図書館の利用実績、利用時間帯のグラフである。2ページからは事業報告で、項目ごとに実施した取り組み内容と実績を書いている。図書館の自己評価までは細かくは書いていないので、実施の報告として見て欲しい。

図書館長

基本目標(1)だれもが使える図書館で評価が済んでいない項目は「1より利用しやすくするための配慮」で、今年度評価していただく対象となる。実施した取り組み内容として、主に今ある各館で制限がある中、工夫をし、新しいコーナーを作ったり、そのコーナーを拡充したり、子どもたちを含めて本がとりやすいように書架の仕切り板の工夫、本の探し方についての掲示を改めて作るといった、子どもたちが自ら本を探し出すことができるようにするための改善を行った。

3ページの「2未利用者へのニーズ把握」について、利用者アンケートの実施を準備するとしていたが、実際その手法について調査や検討はできておらず、手が回らない状況だった。ただ、イベントは数々行っており、その中でアンケートを行った。未利用者へ向けた講座等について、それぞれ講演会や講座を実施した。4ページも行ったイベントの内容を数字等で示している。

5ページの障がい者サービスの充実について、多摩市立図書館障がい者等サービス実施要綱を改定し、より利用対象を広くした。テキストデイジーを改めて作成する準備を始めた。今年の7月から障がい者サービスの拠点中央図書館に移り、それに合わせて音訳資料等を聞くための機器プレクストークを利用者に貸出しするため準備を昨年度は進めてきた。

6ページの「3若年世代の図書館利用の推進」として、ニーズの把握というところで、唐木田図書館では読みたい本ポストなどを設置したが、選書にはつながらなかった。また、ティーンズ等の声を出して利用できる学習スペースを作るということで、中央図書館に設置する準備をしている。それ以外のことで、ホームページやSNSを積極的に活用し、これが貸出に繋がっている。

7ページの4多文化サービスの充実として、外国語資料の収集を進めている。購入した英語の多読資料を本館へ収集しているが、収集館でない豊ヶ丘図書館などの分館にも展示をして本館以外の利用者にPRし、それが貸出につながっていった。また、資料の貸出、関係機関のパンフレットの配布等により情報

提供を行うとともに、国際交流センターと連携し「Hand in Hand」という生活情報誌に外国語資料の紹介などの掲載を継続して行た。8ページに取り組みということで、多言語の利用案内も作成中、翻訳を庁内の所管課に依頼しており、中央館開館後に配布予定である。

図書館長

基本目標(2)子どもへのサービスの充実について、先ほど評価の対象として決まった。主な取り組みの内容としては、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を推進していく。実施した取り組みの内容としては、もともとの読書活動推進計画の中に取り組み内容があり、それを進めてきた。新たに力を入れた取り組みとして、8ページの児童館や市立保育園に出張お話を実施し、図書館をPR、ニーズの把握を行った。おはなしの会のボランティアと協力し、児童館5館と保育園に全8回出張お話会の取り組みを行った。

また、9ページの発達支援室の意見交換だったり、ひまわり教室の保護者会で直接図書館をPRしたり、都立桜の丘学園の児童に対しておはなし会の実演や指導をしたりしてきた。そのほかの取り組みとして、それぞれの館で様々なイベント、おはなし会を行った。

10ページに掲載した、教員向けの図書館利用案内を配布し情報提供したり、調べ学習用の資料として貸出した資料を使って、生徒が作った成果物を本館で展示したりした。

11ページの「5 読書活動に取り組む団体の支援」について、団体貸出では、パルテノン多摩4階ライブラリーラウンジに団体貸出を行い、2週間に1回は書棚の手入れを行い、年に2回の入れ替えをするなどし、図書館以外の場所でも本を利用させていただき取り組みを行った。このライブラリーラウンジの近くにはこども広場oliveがあり、こちらとの連携も進めている。例えば、パルテノン多摩の4階のフロアで「ボードゲーム&おりがみで遊ぼう in ライブラリーラウンジ」といったイベントに取り組んだりした。また、子ども食堂に図書の貸出ができないか調整し、団体貸出より、リサイクル本の提供をして欲しいという意見を聞き取った。それを参考とし、次年度の新たな取り組みに繋げることができた。12ページの団体貸出をスムーズにできるように工夫した点では、複合施設の中に図書館があるため、複合施設の職員にも図書館を利用してもらえよう、情報の提供に努めた。「6 読書活動振興のためのイベントの開催」とい

うことで、数々のイベントの実施をしている実施結果を載せている。13 ページ「7 読書活動に関心を高めるための事業の実施」ということで地域課題に合わせた企画展示を行っている。例えば豊ヶ丘図書館では八角堂という施設とコラボし、企画展示を行った。14 ページも引き続きそれぞれ行ったイベント等を実施した内容を記述している。

図書館長

基本目標 3 のところに戻り、11 ページの「5 読書活動に取り組む団体の支援」と 15 ページの「8 地域資料の活用による地域文化の継承」のどちらかが評価対象になる。「8 地域資料の活用による地域文化の継承」について、中央図書館開館に向けてということで、地域資料コーナーの活用や、地域資料のデジタル化の検討の取り組みを行った。中央図書館への開館へ向けては、これまで寄贈を受けた多摩ニュータウン関係の資料を中央図書館の開架へ置くため、寄贈を受けた方からヒアリングを行い、今年度へつなげるための準備を行った。

また、地域資料のデジタル化については、ある程度事業としては終了し、活用促進の取り組みをしてきた。16 ページ上部、たましん地域文化財団で行っている講座で図書館の職員が講師を務め、「デジタルアーカイブで資料をみる」という講座を行い、広く普及に努めた。

図書館長

基本目標 4 しらべるを支え、つながる図書館の「9 地域課題解決の支援」と「10 デジタル資料の提供」については両方ともすでに評価は済んでいる。よって今回は対象外となる。行った内容としては、16 ページ「9 地域課題解決の支援」として、各課連携の展示を行ったり、ブックリストやパスファインダーなどを作成し、展示の後にホームページで公開したりした。

また、レファレンス事例をホームページ上で公開する取り組みを行った。16 ページの最後のほう、新規のレファレンスデータの蓄積というところでは、新規追加まではできなかったのが現状である。17 ページ国立国会図書館のデータベースへの登録、また図書館ホームページ内の更新、レファレンス資料の探し方や使い方、オンラインデータベースの利用講座の実施、このあたりシステムに関してはシステム担当と相談しながら進めたり、オンラインデータベースはデータベースを増やすための予算確保へ向けて準備を行い、基本的には今年度にある程度実施できるように取り組んできた。

図書館長

19 ページ基本目標「5 弾力的な管理・運営」について、項目

が多いので評価されているところは、「13 職員体制の見直し」と「17 蔵書の適正管理」の2つは評価がされているが、それ以外のところは評価が進されていない。19 ページの「11 本館の機能強化」については、昨年度の協議会でも報告してきた通り、中央図書館の管理・運営方針の策定を計画的に進めたこと。また、運営の面でも検討を進めた。

蔵書に関しては、計画的に選書を取りまとめ、雑誌新聞などについても中央図書館に収集するものを決定していくという準備を進めてきた。

20 ページ「12 図書館コンピュータシステムの見直しによるサービス向上」については、更新は済んでいる状況である。

「13 職員体制の見直し」については、先ほど説明した通り、管理運営方針について関連例規の改正を踏まえ、事務分担などを整えて実施を行った。また、各種研修などにも職員を派遣した。

21 ページ「14 ボランティア活動の促進」について、具体的に促進に向けた検討がなかなかできない状況にあったが、高齢者のための図書館カフェを実施し、新たに医療関係者の方や大学生と活動に取り組んだ。22 ページ「15 事業計画の策定と点検評価」について、毎年度計画的に実施ができている。利用者アンケートの実施の方法については検討ができなかった。「16ICTの活用」について、中央図書館に取り入れていく中で、準備と予算確保を進めた。「17 蔵書の適正管理」について、昨年度の協議会でも報告したが、蔵書点検の中では、不明となった亡失資料が減少したという結果であった。水漏れ等汚破損の改善は課題であるが、積極的な PR はできなかった。

23 ページ中央図書館の開館に向けて適正な蔵書管理の仕組みを検討、蔵書構築の実施については、図書館内でチームを立ち上げて準備してきた。蔵書は購入してきたが、今度中央図書館の蔵書を固定化するにあたって、購入から廃棄までの運用の検討は実施する予定だったが、なかなか進まず、今年度持越して検討するという事になっている。

図書館長 実施結果がまとめてある中で評価する項目を選んでいただければと思う。

会長 今館長から説明があったところについて、何かあればお話を聞きたいと思う。

館長、確認よろしいか。

- 図書館長
会長 はい。
 確認だが、基本目標 1 の 2 番目の未利用者ニーズの把握はどこからでてきたか？
- 図書館長
会長 若年世代が 2 番である。番号がずれてしまっている。
 基本目標 5 の 11 番と 12 番と 16 番について、中央図書館の開館に関する項目だが、選ばれたときにどう評価したらよいか。特に 12 番についてどうしたらいいのか。
- 事務局 12 番については、もともとの読書活動振興計画を作った時点では達成できていなかった。コンピュータシステムは更新しているので、一度目標は達成している。よって、評価の対象としては、外したほうがいいのではないか。
- 会長 できない項目があると評価対象が減ってしまう。
 また、11 番と 12 番は自己評価できるのか。
- 事務局 実施できたという評価はできるが、サービスを展開してどうだったかという、来年か再来年になると思う。
 委員のみなさまが、もうちょっと掘り下げたいという項目を選んでいただきたい。
- 会長 基本目標 1 と 2 は評価項目が 1 つしかないのもそのまま実施する。3 は 2 つのうちどちらかを選ぶ。基本目標 4 はなし、基本目標 5 はどうするか。
 基本目標 3 はどうか。5 か 8 かどちらにするか。
- 委員 8 が良いと思う。新しく中央図書館にパートナーズスペースができるので、5 については、それについてわかる次年度以降がいいのかなと思った。8 の地域資料は学校でも地域資料の利用促進を広めたらいいのかなと思った。
- 委員 基本目標 3 の 5 番と基本目標 5 の 14 番が似ているので、基本目標 3 については、今年度やってから評価したほうがいいのか、8 番がいいと思う。基本目標 5 では、14 を選んだらいいのではないか。
- 委員 14 番はむしろこれからなのではないか。なので、次年度以降がいいのではないか。それか、両方とも来年度にしたほうがいいのかと思う。
- 会長 基本目標 3 については 8 番でよいか。
- 副会長 基本目標 3 は 5 番も 8 番も捨てがたい。本当に本を読まなくなっており、本が売れなくて困ると出版社の方が言っていた。読む行為の重要性を体感しながら活動している方の状況を見て

もいいのではないか。8番は図書館の特色を出す1番大きな部分なのでそれを振り返る必要性もあるだろうと思う。基本目標5は14番のみにし、基本目標3では2項目とっていいのではないか。

- 会長
委員 私もそう思う。今年できるものから優先すべきである。
今年3月に文科省から、第5次子どもの読書活動推進に関する基本的な計画の概要が出て、子どもの不読率が一番に挙げられていた。子どもの読書率を考えるべきなので、私も3番から2項目をとるべきと思う。
- 委員 中学校は朝読書を行ったり、図書室もレイアウトを興味を引くようにしているところが多いので、本には触れていると思う。昨年度のことはわからないが中央図書館の開館に向けてとあるので、8番は入れたほうがいいと思う。
- 会長 基本目標5について、今、評価できるものが少ないので、14番を取り上げておく。
基本目標1は1番、基本目標2は4番、基本目標3は5番、8番、基本目標5は14番を選び、全部で5項目というのでどうか。
- 委員 14番はできていないので評価できないのではないか。
- 事務局 14番については、できていないところをどうしてなのかなどを自己評価し、評価いただいてもいいのかもしれない。
- 会長 自己評価の方から工夫して頑張っていたかかないといけない。
- 事務局 評価の方法として、協議会での時間を割いてしまうので、今後考えていったほうがいい。
- 会長 協議会5回のうち4回もとっていて、事業評価のために集まっているわけではないので、評価の視点を考えてもいいのではないか。
- 副会長 事業評価をしながら、フリーに色々トークすることは難しい。しかし、項目内容が決まっていれば希望的な発言もできると思うので、そういう形で進めてもいいのではないか。
- 会長 副会長からのご提案、いかがか。(無し)
基本目標5について、どうしたらよいか。
- 委員 2年続けて、同じ項目をとってはいけないのか。
- 会長 かまわないが、時間がかかるということである。
- 委員 一度評価し、次年度、改善するのかどうかというのを出さないと評価にならないのではないか。
- 会長 ボランティア活動の促進を選ぶということでよいか。(承諾)

では、今年度は、基本目標 1 は 1 番、基本目標 2 は再度同じものを、基本目標 3 については 5 番と 8 番、4 はなしで、5 については 14 番の計 5 項目を選ぶことにする。（承諾）

つきましては、図書館からの自己評価をお願いします。

事務局

報告 1、資料 1-1 を説明する。基本目標 1 から 5 ということで令和 5 年度の事業計画をまとめている。それぞれの館が実際に実施数をまとめており、計画としては、実務的なものである。中央図書館開館に向けて、各分館については、中央図書館に蔵書を寄せている。その中で、各分館の書架の空いたところの整理や新たな配置を実施していくところである。それ以外にも例年実施している、課題解決に向け、市役所の各課と連携した企画展示をしたり、地域館で関連する団体とイベントや企画をしたりといった内容になっている。

報告 2 については、先ほど説明した。

報告 3 について、資料 1-7 である。令和 5 年度子どもの読書活動優秀実践校の団体に対して、文部科学大臣賞表彰で多摩市内で活動いただいている「つくしんぼ文庫」が受賞した。表彰式は 4 月 23 日に行われ、表彰された。「つくしんぼ文庫」についての詳細を掲載している。この後、教育長への報告を 6 月 5 日に予定している。資料 2 枚目に受賞者の詳細が載っている。

報告 4 について、資料 1-8 である。毎年度実施している事業である。子どもの読書活動の推進活動として、会場での展示、特別お話会、ワークショップ、スタンプラリーの 4 本立てで行った。2 ページから展示の様子を掲載している。5 ページからは図書館の本館で行った内容を、6 ページからはワークショップを掲載している。7 ページからは、各館の特別お話会の実施についてまとめている。8 ページは、ほんともスタンプラリーで、市の健幸まちづくり推進室とともに実施をし、カードの配布枚数が合計 734 枚となった。この期間に延べ 734 人が図書館を訪れたことになる。スタンプラリーでは、職員がカードを作り、二次元コードを読み取るとコラムが見られるようになっている。

その他 1 について、資料 1-6 である。利用者の方向けに「多摩市立図書館活動室ご利用の手引き」を作成した。関戸と中央館にて有償で活動室の貸出を行う予定。

また、机上にお配りした、「よんでみよう」は 5 年生対象のものを作成し、各学校に児童数で配布した。「多摩市立図書館

ニュース」は小学校低学年・高学年・中学校および高校向けを作成した。中・高生向けは都立校にも生徒数分配布する。「やまばと通信特別号」を作成した。6月1日から広く配布する。

会長 なにか質問等はあるか。

会長 次回の日程調整であるが、7月21日（金）、27日（木）、28日（金）の都合はいかがか。

事務局 7月21日（金）が有力であるが、後日、メールでお知らせする。

会長 では、すべての議事は終了した。
 本日の第1回定例会は終了する。